

## 第 1 回北海道地域学校協働活動推進協議会（道東会場）

【道東】令和元年（2019年）7月12日（金）（帯広市・十勝合同庁舎） 参加者：145名

## 1 説明「新・放課後子供総合プラン推進のポイントについて」

説明者 学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ主査

尾 山 清 龍

## 説明「児童虐待防止対策の抜本的強化について」

説明者 十勝総合振興局保健環境部児童相談室地域支援課相談支援係長

七 條 公 英

新・放課後子供総合プラン推進のポイントとして、放課後児童クラブの追加的整備など国全体の目標等について説明を行いました。また、児童虐待防止対策の抜本的強化に関する説明では、発生予防・早期発見の重要性を全体で確認しました。

参加者からは、「新・放課後子供総合プランの法的説明を聞き、理解が深まった。」「児童虐待に対し早期に対応できるよう、気を一層引き締め、子どもの変化を見逃さないようにしたい。」などの感想が寄せられました。



## 2 講義・演習「集団の中での特別な支援を要する子どもへの具体的な対応について」

講 師 十勝教育局教育支援課義務教育指導班指導主事（特別支援教育スペシャリスト）

奥 田 裕 幸

子どもの実態に応じた適切な指導と必要な支援のポイントについて説明を行いました。発達障害を抱えている方のインタビュー映像の鑑賞や参加者同士の協議をとおして、具体的な支援策に関する理解を深めました。

参加者からは、「ほめること、認めることの大切さがわかった。」「子どもに合った教え方で具体的に伝えることが大切だと感じた。」「特別な支援を要する子ども以外にも応用できる話が多くあった。」などの感想が寄せられました。



## 3 選択研修

## A 演習「豊かな心を育む自然遊び」

講師 帯広の森はぐくむ施設長

日 月 伸 氏

自然への興味・関心を引き出す自然遊びの演習を行いました。草の茂みを観察し隠された人工物を探す活動や、講師が示した葉や実などの自然の宝物を探し集める活動など、楽しみながら自然を豊かに感じる機会を提供しました。

参加者からは、「自然の中での遊び方を学べてとてもよかった。」「子どもだけではなく、大人も楽しめる内容だった。」「自然をとおして楽しむ活動のヒントを多く得られたので、戻って実践したい。」などの感想が寄せられました。



## B 演習「ペットボトルで風車づくり」

講師 帯広市生涯学習指導者登録

松井英也氏

ペットボトルやビニールテープなど容易に集められる材料でできる風車づくりの演習を行いました。風車を回りやすくする作り方や子どもの豊かな発想力を引き出す指導方法などについても、講師から丁寧な説明がありました。

参加者からは、「作り方のコツや教育的効果がよくわかった。」「子どもの感性や活動の様子を確認しながら、取組を進めることの大切さを学べた。」「身近なペットボトルを使ってできるので、すぐにでも実践したい。」などの感想が寄せられました。



## C 演習「室内で楽しくみんな遊び」

講師 北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル足寄企画管理グループ業務担当リーダー

佐野祐二氏

年齢や体力に関係なく楽しみ、参加者同士の仲を深める室内遊びの演習を行いました。講師からは、失敗を許容する雰囲気づくりの効果や協力を促す効果などの解説もあり、各活動のねらいの重要性についても理解を深めることができました。

参加者からは、「すぐに使える仲間づくりのゲームがたくさんあってよかった。」「小さい子から大人まで楽しめ、みんなの仲間意識が高まる充実した内容だった。」「講師のゲームの進め方が大変勉強になった。」などの感想が寄せられました。



## 4 情報交流

進行 十勝教育局教育支援課社会教育指導班 社会教育主事 平下祐哉

地域学校協働活動の意義について確認した後、様々な地域から来ている参加者が小グループに分かれ、情報交流を行いました。外部と連携した取組や抱えている課題などを活発に意見交換する機会を提供しました。

参加者からは、「同じの思いの方と話せてよかった。いろいろなことを相談できた。」「地域により課題が違い参考になることが多くあった。」「ほかのところの活動を自分の施設に合ったかたちにアレンジして実践したい。」などの感想が寄せられました。

